

主要事業評価シート(第1次実施計画／H29・30・31年度)

① 基本事項	計画コード		事業名		部名	健康福祉部		
	17086		かめやまげんきっこ育成事業		課名	子ども未来課 子育てサポートG		
	施策体系	施策の大綱	04:子育てと子どもの成長を支える環境の充実			財務科目	会計	01:一般会計
		基本施策	02:安心して産み育てられる環境づくりの推進				款	03:民生費
		施策の方向	01:健やかに産み育てられるための支援の充実				項	02:児童福祉費
		戦略プロジェクト	05:「そして、親となるまち」プロジェクト				目	01:児童福祉総務費
	事業予定期間		H 27	～	H -	年度	主な根拠法令要綱等 児童福祉法	

② 目的・概要	対象	就学前児童、中学生、高校生			
	目的	運動能力の成長におけるゴールデンエイジである乳幼児期の運動活動を促し、健康的な心身の発達や運動能力の向上を図るとともに、読書による豊かな心をはぐくみ、子どもたちが将来に渡って健康的な生活を営む力を養うことを目的とする。			
概要	概要	かめやまげんきっこフェスティバルを開催し、地域子育て支援センターの交流を図るとともに、各支援センターでの子育て講座を展開し、子どもたちの発達を促す。また、豊かな心を育むため、ブックスタートを実施し、絵本のよみかせ講座等を開催する。さらには、かめやまげんきっこを育成するための人材を養成するため、リーダー養成講座を開催するとともに、市内の中高生を対象としたライフプラン教育を行う。			

③事業の計画・実績

	平成29年度			平成30年度			平成31年度		
年度計画	○かめやまげんきっこフェスティバル開催 ○子育て講座の開催 ○心の栄養よみかせ事業 ○リーダー養成講座の開催 ○ライフプラン教育(中高生)			○かめやまげんきっこフェスティバル開催 ○子育て講座の開催 ○心の栄養よみかせ事業 ○リーダー養成講座の開催 ○ライフプラン教育(中高生)			○かめやまげんきっこフェスティバル開催 ○子育て講座の開催 ○心の栄養よみかせ事業 ○リーダー養成講座の開催 ○ライフプラン教育の実施(中高生)		
	・かめやまげんきっこフェスティバルの開催 (来場者303人:保護者136人、子ども167人) ・子育て講座の開催(メイン講座2回、拠点講座48回、延べ参加人数:1,564人) ・リーダー養成講座の開催 ・ブックスタート事業の実施 ・思春期ライフプラン講座の実施(3中学校)								
事業費	計画額	事業費	1,600千円	1,600千円			1,600千円		
		国庫支出金							
		県支出金							
		地方債							
		その他							
		一般財源	1,600千円	1,600千円			1,600千円		
	予算額	事業費	1,600千円	1,500千円					
		国庫支出金							
		県支出金							
		地方債							
		その他							
		一般財源	1,600千円	1,500千円			0千円		
	決算額	事業費①	1,263千円						
		国庫支出金							
		県支出金							
		地方債							
		その他							
		一般財源	1,263千円	0千円			0千円		
人件費	総人件費②	6,143千円							
	一般職員	6,143千円							
	所要人員	0.80							
	臨時職員等	0千円							
総コスト(①+②)		7,406千円							
受益者負担率		0.0%							

				平成29年度	平成30年度	平成31年度
④指標	①	名称	地域子育て支援センター利用者数	計画値	35,600	36,000
			市内5か所の年間利用者数	実績値	35,229	36,400
				単位	人	人
	②	名称	講座開催数	計画値	40	40
			各種講座開催数の合計	実績値	50	40
				単位	回	回
	③	名称	講座参加者数	計画値	1,000	1,000
			各種講座参加者数の合計	実績値	1,564	1,000
				単位	人	人

⑤事業の改善	前回評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】

評価		(判定)
⑥事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 各子育て支援センターで工夫して講座を開催し、子どもの発達を促す活動を行った。かめやまげんきっこフェスティバル等を開催し、多くの子どもと子育て世代の保護者が参加するとともに、地域子育て支援センター同士の交流についても図ることができた。 A 計画どおり実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 ブックスタートで、絵本を配布するとともに、保護者向けの読み聞かせの会を開催することで、家庭でも乳児期から絵本に触れる環境を整えた。また、読み聞かせの会を開催することで、乳時期から子育てに本をとりいれる家庭が増え、図書の貸し出し数も増加している。子育て講座の内容に運動あそび、食育、アレルギー等、様々な分野を取り入れることで、保護者の関心も高まり、たくさんの親子の参加につながっている。 A 十分な成果を得た

⑦今後の対応方針	課題	【課題は何か】 普段から子育て支援センターを利用している人の参加が多いため、メンバーがやや固定化されている。	☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 廃止 ☐ その他 【その他の場合、その内容を記載】
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 ベビーのつどいを定期的に開催し、新規利用者を増やしていく。また、広報やホームページを活用し、たくさんの人に向けた周知を行うとともに、今までになかった絵本交換会等、参加者同士の交流が進むような新しい企画も考えていく。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 本事業により子育て支援センターの活動が活発になることで利用者が広がり、利用者間の交流が進む。これにより保護者が孤立することを防ぎ、悩み等も緩和され、子どもが健やかに成長することができる。	
	対応時期	年間を通じて	

【1次評価者】	健康福祉部 子ども未来課 子育てサポートグループリーダー 高重 京子
【最終評価者】	健康福祉部 子ども未来課長 宇野 勉